

外科学教育における オンライン合同国際講義の有益性が明らかに

【本件のポイント】

- オンライン合同国際講義への関心度や満足度の高さが判明
- 国際交流が制限されている中でも有益な講義を実施
- スピーキング力向上が今後の国際交流発展のカギに

学校法人関西医科大学（大阪府枚方市 理事長・山下敏夫、学長・友田幸一）医学部外科学講座橋本大輔講師、里井壯平診療教授らのチームは、リトアニア共和国ヴィリニウス大学とのオンラインシステムを活用した合同国際講義について、聴講した両大学の学生へのアンケート調査を実施し、合同国際講義が外科学教育において有益だったことを明らかにしました。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い海外渡航が厳しく制限され留学の機会が損なわれていた中で、関西医科大学は、以前から国際交流協定を結んでいた、欧州リトアニア共和国の首都ヴィリニウスにある国立ヴィリニウス大学（1570年創立）と合同で、両大学の医学部生を対象としたオンライン合同国際講義を実施しました。2021年10月から2022年5月まで、消化器外科手術、消化器病学、放射線学、病理学、遺伝学、臨床検査医学、臓器移植に関する内容を中心に計15回実施。全講義終了後、参加した両大学の学生にアンケート調査を実施し、講義内容への関心度や満足度が高いという結果が得られたことから、オンラインシステムを活用することで、国際交流が困難な環境下においても有益性の高い講義を実施できることが判明しました。

なお、本研究をまとめた論文が日本外科学会発刊の刊行物『Surgery Today』（インパクトファクター：2.540）に2月15日（水）に掲載されました。

■ 書誌情報

掲 載 誌	Surgery Today (DOI https://doi.org/10.1007/s00595-023-02660-6)
論文タイトル	The academic impact and value of an international online surgery lecture series
筆 者	Daisuke Hashimoto, Aiste Gulla, Sohei Satoi, Tomohisa Yamamoto, So Yamaki, Yuki Matsui, Chisato Ohe, Makoto Yamasaki, Madoka Hamada, Tsukasa Ikeura, Masaaki Shimatani, Raoul Breugelmans, Algirdas Utkus, Tomas Poskus, Arturas Samuilis, Marius Miglinas, Arvydas Laurinavicius, Koichi Tomoda, Vaiva Hendrixson, Mitsugu Sekimoto & Kestutis Strupas

【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（佐脇・中村）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

別添資料

<本研究の背景>

2019年から、世界規模のパンデミックを引き起こした新型コロナウイルス（COVID-19）が原因で国際交流が厳しく制限され、大学のグローバル化は止まり、学生の貴重な留学経験が失われましたが、それにより国際交流の重要性が再認識されることとなりました。そして、コロナ禍で対面的な交流が制限されたことにより、オンラインを活用した交流が世界中で広く普及したことで国際交流のハードルは下がり、結果的に学生に対してより国際性の高い講義を提供することが可能になりました。そこで、関西医科大学と2018年から研究教育面での連携を開始していたリトアニア共和国のヴィリニウス大学は、コロナ禍においても学生に最新で質の高い外科学教育を提供するとともに、大学間の国際交流を図り、非英語圏の学生に英語学習の機会をつくりだすことを目的として、外科学のオンライン合同国際講義を実施しました。

<本研究の概要・結果・今後の展開>

オンライン合同国際講義は、2021年10月から全15回（表1）実施され、関西医科大学からは計80名、ヴィリニウス大学からは40名の医学部5年生および6年生が参加。消化器外科手術、消化器病学、放射線学、病理学、遺伝学、臨床検査医学、臓器移植に関する内容を中心に、45分間の講義の後に15分間の意見交換の時間を設けられました。（表1）

表1	日程	講義タイトル	講師	所属
	2021年10月25日	黄疸症例に対する検査と診断	Aiste Gulla	ヴィリニウス大学
	2021年11月8日	膵臓外科手術：計画から実行まで	橋本 大輔	関西医科大学
	2021年11月22日	膵臓癌の基礎研究：最新の知見	Aiste Gulla	ヴィリニウス大学
	2021年12月6日	膵臓疾患に対する外科的アプローチ	里井 壯平	関西医科大学
	2021年12月20日	膵臓疾患の放射線医学的診断法	Arturas Samuilis	ヴィリニウス大学
	2022年1月17日	直腸 Gastrointestinal stromal tumor：手術の進歩	濱田 円	関西医科大学
	2022年1月31日	組織病理検査のための digital intelligence	Arvydas Laurinavicius	ヴィリニウス大学
	2022年2月14日	剖検からわかること：閉塞性黄疸の一例	大江 知里	関西医科大学
	2022年2月21日	結腸直腸癌に対する手術の基礎	Tomas Poskus	ヴィリニウス大学
	2022年3月7日	手術ってなんて楽しいんだろう！	山崎 誠	関西医科大学
	2022年3月28日	腫瘍外科手術における遺伝学の重要性	Algirdas Utkus	ヴィリニウス大学
	2022年4月11日	急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎	池浦 司	関西医科大学
	2022年4月25日	外科手術におけるリポ蛋白の臨床検査	Dovile Karciauskaite	ヴィリニウス大学
	2022年5月16日	臓器移植の拒絶反応の理解と予防	Marius Miglinas	ヴィリニウス大学
	2022年5月30日	バルーンアシスト内視鏡による ERCP の最近の進歩	島谷 昌明	関西医科大学

全講義終了後、本研究調査のために、講義に参加した全学生に紙ベースとオンラインベースのどちらかで回答を行うアンケート調査を2022年5月に実施しました。アンケートの回答率は全体で87.5%。両大学生ともに講義全体を通して興味深く、満足度も高いという結果が得られた一方で、ヴィリニウス

【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（佐脇・中村）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

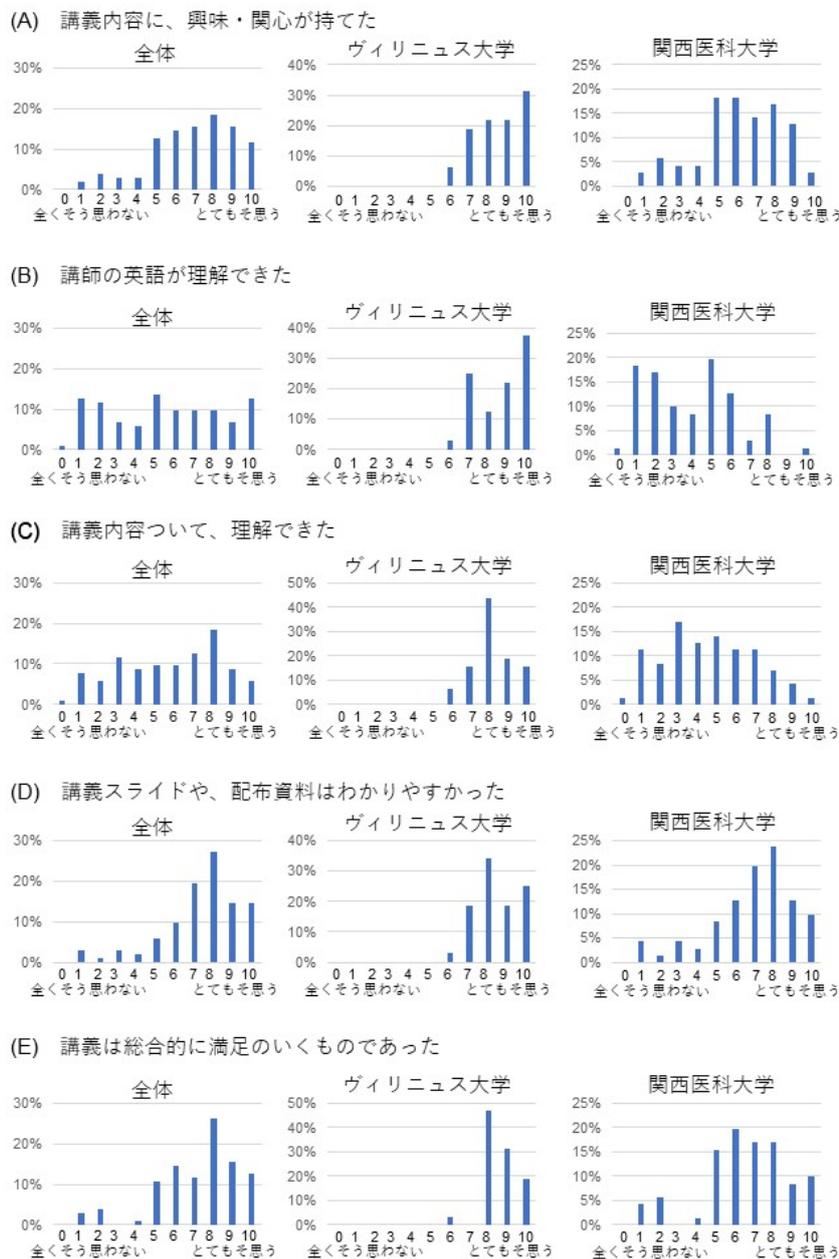
電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

PRESS RELEASE



大学生と比較すると、関西医科大学生の英語の理解度が課題となっていることが判明しました。(表2) スピーキング力の向上が今後国際交流を続けるうえでの重要な要素であり、外科学のオンライン合同国際講義がその一端を担えるよう、今後も多くの国際交流の機会を提供することが期待されます。

表2



<本件研究に関するお問合せ先>

学校法人関西医科大学 外科学講座 橋本大輔講師

大阪府枚方市新町 2-5-1 TEL：072-804-0101 E-mail：hashimod@hirakata.kmu.ac.jp

【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（佐脇・中村）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp